

市長の意見交換会<佐和田地区> 質疑要旨

日時：令和7年12月6日（土）14：00～15：20 会場：佐渡市消防本部2階 多目的ホール

参加人数：27名（下記 市職員は含まない）

佐渡市：渡辺市長、岩崎総務部長、北見企画部長、平山財務部長、佐和田行政SC 本間センター長 ほか5名

1. 市政について

市長より説明	<p>（説明内容）</p> <p>○持続可能な島づくりの実現に向けた現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少問題とその対策。 ・子育て支援と晩婚化の影響。 ・子どもを欲しい人が安心して産み育てることが出来る支援。 ・佐渡の子ども達に佐渡のことを知ってもらい、佐渡を好きになってもらう地域教育。 ・健康寿命日本一に取り組み元気な高齢者の社会参画を促進。 ・佐渡総合病院は県や厚生連と議論しながらしっかり守っていく。 ・行財政改革として「官から民へ」の改革により行政をスリム化。 ・デジタル化を進めて市役所の行政効率を上げ行政コスト低減。 ・循環型で佐渡にお金が残る、佐渡でお金を稼ぐ、それを雇用に繋げる仕組みづくり。
--------	--

2. 質疑

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(河原田)	<p>①茅を育てている。茅葺き屋根の修繕などでボランティアが不足している。交流人口拡大やマッチングアプリの活用などにより、年4回の作業にボランティアを確保できるように支援してほしい。佐渡博物館の古民家の屋根改修を目指したい。</p> <p>②トライアスロンやロングライド、トキマラソンなどスポーツ大会が盛んだが、全国に通用するような特化したものを育成してはどうか。全国から優秀な人材を集めるなど。</p> <p>③世界遺産登録されたが相川方面、中山トンネルなどで携帯が不通のところがある。解消できないか。</p>	<p>①ボランティアは企業と絡んで行うケースもある。ツーリズム、ゴミ拾いと旅行など、観光と兼ねたものも考えられる。</p> <p>②スポーツに特化した学校というのは難しい。指導者の人材確保や運営面など課題が多い。</p> <p>③中山トンネルでも電波が使えるところもあるが、もともと携帯電話の電波が弱い。今後は衛星回線などのスターリンクが主流になっていくと思われる。災害対応でも重要である。</p>	地域産業振興課 文化スポーツ課 総務課（デジタル広報室）
(沢根)	<p>介護保険法の改正で訪問介護の介護報酬が減額となった。佐渡市はヘルパーが不足している。また単身高齢者が増えているのが現状。</p> <p>村上市では、介護報酬の減額分の差額補助として800万円の補正予算を組んだが、佐渡市でも同様の補助ができないか。</p>	<p>国の補助方針が、どこまで対応になるかも含め、事業所の現状と補助が必要なのかを、社会福祉部としっかり議論をして適切な対応を考える。</p>	高齢福祉課
(長木)	<p>①大佐渡縦貫のトンネルを整備してほしい。高千や相川北部から国仲への移動時間が短縮すれば過疎化対策や病院への通院、救急車などでも効果がある。</p> <p>②飛行機の問題、新潟や東京と直接航空路が結ばれれば佐渡の海産物の販売や観光客の面で効果がある。</p> <p>③大工さんなど職人の大学や専門学校を作してほしい。地震災害で自宅が被害を負ったとき工務店に改修してもらったが、年配者ばかりで若い人を育てなければいけないと思った。</p>	<p>①道路は国に要望することになるが佐渡は広い。佐渡の中心部に人が集まるのも自然の流れだ。大佐渡にトンネルを掘れば高千から佐和田まで30分程度で移動でき住民の利便性は上がるかもしれないが、問題はトンネル整備した費用対効果が得られるかということだ。</p> <p>②佐渡産品を飛行機で東京へという話があったが、大田市場を視察した際も流通量が豊富なのはおき柿くらいで、あとは数が少なすぎるのが現状。それよりも冬の観光客増加の方が飛行機の効果があると思う。</p> <p>③現在ある専門学校は宮大工に加えてIT系の講義を行っている。職業訓練校もあるが生徒が少ない。職人大学等を新しく作るよりも今あるものを活用すべきだと考える。</p>	建設課 交通政策課 地域産業振興課

市長の意見交換会<佐和田地区> 質疑要旨

(山田)	<p>①財政面の問題、財政調整基金や市の借金は現状どうなっているか。水道料金の値上げも問題だ。</p> <p>②佐渡病院の問題、医療福祉介護が心配だ。がん患者が新潟へ行かなければならない。国・県・市が連携して支援するなど、現状どうなっているか。</p> <p>③市長任期2期目となって、市長の政策の方向性は良いと思うが実現できるのか。政策実現するためにどうするのか。</p>	<p>①財政の数字は後で見られるように示すこととしたいが、現状そんなに悲観するほどではない。水道は一般会計からの繰入金が多いことが問題。ほかにもすこやか両津や両津病院なども財政負担が大きい。水道は別にしても官から民への移行を進めないと国からの支援も得られない。水道料金の値上げもそういった努力姿勢を国に示す意味もある。</p> <p>※後日、市報さど12月号で、令和6年度決算報告として市債と基金の令和6年度末現在高を公表済。</p> <p>②佐渡病院の医療体制を守ることは大事だが、運営面でも全ての診療科を維持するのは難しい。厚生連の経営健全化を見守り、中核病院として維持するよう支援する。</p> <p>③自分への評価ということだが、人口の社会減を減らすことでは、移住定住など一定の成果があったと認識している。職員にはもっと市民目線で、職員と市民が一緒になって政策実現を目指すよう意識改革を行いたい。</p>	<p>財政課 健康医療対策課 総合政策課</p>
(八幡)	水道料金が10%、さらに次の年には10%値上げされるとのことだが、下水道料金も値上げするのか。	下水道料金も同じ率で上がることになるが、一方で物価高対策もやりたいと思っている。上下水道は現状のままでは経営が成り立たず、市民への安定供給が出来なくなる。	上下水道課
(河原田)	住宅密集地や狭い道での火災対応はどう考えているか。	住宅密集地などでは一定の空間を空けることが必要。商店街なども含めてみんなで考える必要がある。火災が起きた時にどういうふうにしていくか、地域の消防団なども話し合って、訓練などされるのがベストだと思う。	消防本部
(上矢馳)	佐渡病院の人材確保をどうするのか。市報や回覧板に定期的に載せて周知するなど、具体的な施策はあるか。	マッチボックスなどのアプリを活用して、短期のバイトから佐渡病院の就職につながったケースもある。ただし、厚生連が給与カットを行っているのは人材確保の面ではマイナスで、せめてボーナス分は戻すべきと考える。厚生連の経営面が心配で応募に至らないということも考えられるので、まずは厚生連の経営安定化が重要と思う。両津病院の人材は充足している。	<p>健康医療対策課 地域産業振興課</p>
(中原)	<p>①入島税、宿泊税の問題はどうなったか。自分としては全ての来島者が負担する入島税にした方が良いと思う。</p> <p>②自転車で走っているとわかるが、路肩の雑草が目につき、観光地として相応しいと思えないし、自転車もそれを避けて道路の中央寄りを走ってキープレフトで危険なので、入島税の財源で整備してはどうか。</p>	<p>①検討会では宿泊税と入島税を比較した結果、入島税の方が適当であると言っているが、観光業者の理解が必要であると考えている。</p> <p>②道路美化は道路管理者がやるべきだと考える。観光の為に目的税でありDMOなどでしっかり議論すべき問題。観光、インバウンドを増やすため、みんなでしっかりと、いろんな検討をすべきだと考える。</p>	観光振興課